◎障害のある方と共に理解を深める

「障害のある方の災害時支援に関する学習会」

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

東大和市福祉部内の専門部会「東大和市地域自立支援協議会 防災・防犯部会」主催の、首記学習会が開催されました。

クロスロードを教材とし、30余名の方々(5班それぞれのファシリテーターを含む)が2時間にわたり、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換を致しました。

記

1. 開催にあたって





2. 障害の方を対象としたクロスロードについて

教材は「災害発生!そのときあなたは~災害時クロスロード体験~(障害のある方への支援版)」を使用。

災害に対応するため、意見のすり合わせ、合意の形成を行う。

即座の判断に基づく。災害時をイメージ。障害の方を対象に心構えを考える。 1つのグループは奇数の人数とする。



以下5班に分かれてのグループ討議で、異なった多くの意見・感想が披露され、自身の身になって具体事例を考えることを体験しました。

3.5班に分かれてのクロスロード

以下の事例(障害福祉課で取得可能)に遭遇した場合の自己の行動を、「YES」か

「NO」で回答。

あなたは一般市民です。電車に乗っている時に地震で電車が急停車し、車内には 振替輸送のアナウンスが流れています。近くに不安そうな顔してキョロキョロしてい る人がいます。あなたは声をかけますか? あなたは車いす利用者です。台風で住んでいるアパートが停電になってしまい、近 2 くに自主避難所が開設されています。あなたは近隣住民の力を借りて自主避難所 へ行きますか?

あなたはマンションの住人です。震度5の地震が起こり、エレベーターが止まってし 3 まいました。上の9階に車いすの人が住んでいます。あなたは声をかけに行きます か?

あなたは災害ボランティア員です。精神障害のある人の家事手伝いをしに訪問して 4帰る際に、精神障害のある人が不安定になり、「ずっといてくれ。」とお願いされました。あなたは精神障害のある人の家にずっといますか?

あなたは心臓ペースメーカー使用者です。避難所で生活をしていますが、隣の人ス マホをしきりにいじっている人がいます。あなたは近くで操作しないでもらうよう言い ますか?

あなたは一般市民です。道を歩いている時に地震がおき、交差点の信号が消えて6しまいました。サングラスをかけた困ったような様子の信号待ちしている男性がいます。あなたは声をかけますか?

7 あなたは店主です。店前に、大雨洪水で道を横断できないで独り言を言っている人がいます。あなたは声をかけますか?

あなたは一般市民です。地震が起こり、避難所(体育館)で生活しています。土足 8 厳禁なのに土足で歩いているヘルプカードをつけた人がいます。あなたは注意をしますか?

(第5班での回答)(カッコ内は YES-NO の人数)

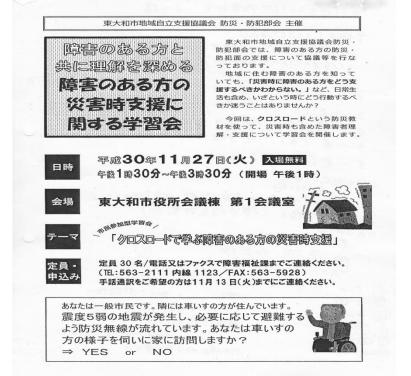
事例1(5-0)、事例2(2-3)、事例3(4-1)、事例4(3-2)、事例5(3-2)、事例6(4-1)

(全体で一番印象に残った各班の事例)(カッコ内は YES-NO の人数)

第1班:事例3(2-3)、第2班:事例3(3-2)、第3班:事例3(4-3)、

第4班:事例5(3-2)、第5班:事例3(4-1)

4. 開催通知



以上